



ご当地 **太坊さん** 茨城

茨 歯 会 報

No.626

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

October
2021
令和3年

10





Contents

デンタルアイ	1
大字 崇弘	
理事会報告	3
会務日誌	5
地域保健委員会だより	8
専門学校だより	11
ピンクのエプロン	12
川又 典子	

表紙写真について

秋冷の北海道美瑛

北海道秋の畑の風物詩「ニオ積み」。刈り取った豆を畑に積み上げ自然乾燥させると風味が良いとのこと。雨除けのビニールシートが帽子のようで可愛らしく見えます。

(社) 水戸市歯科医師会 加藤 毅

新執行部にご協力をお願いいたします



副会長
大字 崇 弘

本年6月より、副会長を拝命いたしました大字崇弘と申します。鶴屋副会長をはじめとする役員の先生方と共に、まだまだ力不足ではありますが新執行部として茨城県歯科医師会の発展のため努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

さて、私は14年間、医療管理委員会の部長として茨城県歯科医師会の会務に参加して参りました。「14年は長すぎるだろ！」とのお叱りの声が聞こえてきそうですが、医療管理委員会の多岐にわたる活動を通して様々なことを学ばせて頂く中で、私が身に染みて感じたことがありましたので、述べさせていただきます。

私が医療管理委員会の部長に就任した平成19年には、第5次改正医療法が施行され、それまで有床診療所に義務づけられていた医療安全管理指針が、歯科診療所にも義務づけられることになりました。以来、医療の安全確保に対する取り組みは、年々厳しいものとなっています。当時日本歯科医師会から提供された医療安全管理指針のモデルはハードルが高く取り組みにくかったため、医師会で使用していた医療安全管理指針を厚生総務課の指導医監と打ち合わせしながら改変し、茨城版として会員の先生方に配

布いたしました。同時に、各地区歯科医師会より講習会のご依頼をいただき、すべての地区で医療安全講習会を開催することができました。保健所の立ち入り検査は、細かな指導とチェックをされるが、やるべきことが理解できていれば恐れるに足りないということも一緒に、講習会の中で県下全域にお伝えできたのは、講習会の機会を頂いた各地区の先生方のご理解と、地区の隅々まで手厚く情報伝達を担ってくれた先生方のご協力があったからこそと感謝しております。

立ち入り検査の強化によって、歯科助手と歯科衛生士、また歯科衛生士と歯科医師の境界がより明確化され、資格範囲を超えた医療業務は更に厳しく取り締まられることになりました。無資格者によるスクーリング、X線撮影などがマスコミで報道され、保険医停止など厳しく処分されることとなり、歯科衛生士は歯科医院に不可欠の存在として急速にニーズの高まりを見せました。

平成23年、当時の森永会長から歯科衛生士不足問題への積極的対応が医療管理委員会に依頼されました。新卒の歯科衛生士の輩出は専門学校が担いますが、その求人倍率は20倍と宝くじ

並み。医療管理委員会では既卒の歯科衛生士のうち歯科医院で働いているのが半数以下であることに着目し、県内隅々に潜む未就業歯科衛生士の発掘を目的に、歯科衛生士復職支援講習会を各地区で行いました。その節には各歯科医院で講習会のポスター掲示にご協力いただき、ありがとうございました。また地区講習会のために診療所を提供してくださった先生方、本当にありがとうございました。

また、歯科医院のスタッフ教育に特化した、接遇のプロを招いてのスタッフセミナーを年に2回水戸で開催していましたが、開催地が水戸だけでは不公平感があるとの声がありましたので、各地区に振り分け、結果全ての地区で開催することができました。参加スタッフの院長先生から、水戸では行かせられなかったけど近くで参加させられてよかったと御礼を言われたときは本当にうれしく思いました。人集めが大変、会場探しが大変と文句を言いながら、それでも復職支援講習会の地区開催にご尽力くださった先生方に心より御礼申し上げます。これも地区の先生方の協力と理解なしでは実現しなかった事業でした。

長きにわたり医療管理委員会で仕事をさせていただいたため、いろいろな先生のお手を煩わせ、ご迷惑をおかけしてしまいました。しかしその分、多くの先生方と知り合う事ができ、仲良くなることができました。医療管理委員会がそれまでになかった事業を展開できたのは、各

地区で知り合った多くの先生方のご協力の賜と心より感謝申し上げますとともに、歯科医師会って人と人とのつながりなんだなあをつくづく感じています。

記憶に新しい新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の際には、各地区で接種希望者の集計にご協力いただきありがとうございました。その結果、他県に比べ比較的早期に歯科医療従事者へのワクチン接種が実現いたしました。歯科用金パラ合金のいわゆる逆ザヤ問題に対しては、8月に歯科医師自身による実勢購入価格の報告をしていただきました。歯科医師一人一人が調査に協力し事実を積み上げていくことが、国への働きかけとなり、問題解決の大きな力となります。更に昨年、茨城県でようやく予算化されたフッ化物洗口推進事業は、9月に実施状況の調査が行われています。実績をお持ちの先生は是非報告をお願いします。

現在の歯科業界は、上がらない診療報酬、慢性的な歯科衛生士・歯科技工士不足、一般企業並みを求められるスタッフの労務管理、厳しい歯科医院経営など難問が山積です。茨城県歯科医師会の執行部は榊会長を中心に、茨城県民の皆様と会員の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと考えています。先生方のご協力こそが、この窮状を乗り越えていく大きな力になると思っています。どうか榊新執行部に、地区や同窓会の垣根を越えてご協力のほどお願いいたします。

理事会報告

第6回理事会

日 時 令和3年8月19日（木）午後4時
場 所 茨城県歯科医師会館 会議室／WEB
報告者 柴岡 永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 連盟報告

4. 報 告

(1) 一般会務報告

(3) 開業予定の歯科医院について

(4) 疾病共済金の支払いについて

西南地区	1名	94日間
日立地区	1名	29日間
つくば地区	1名	17日間

(5) 第24回茨城県総合リハビリテーションケア 学会学術集会への後援について

(6) 各委員会報告について

医療管理委員会、広報委員会、地域保健委員会、学校歯科委員会、社会保険委員会、専門学校

(7) その他

金銀パラジウム購入価格にかかる調査について

5. 協議事項

(1) 入会申込みの受理について

中西伸夫先生	土浦石岡地区	1種
	大阪大歯卒	承認
生井友農先生	つくば地区	準会員
	九州大歯卒	承認

(2) 令和3年度第1回地区会長協議会提出議題 (案) について 承認

(3) 防災危機管理運営小委員会委員の委嘱について 承認

(4) 介護保険講習会講師謝礼について 承認

(5) 事業補助金の申請について（茨城・県西歯科医師会） 承認

(6) 令和3年度事業補助金の申請について（茨城県女性歯科医会） 承認

(7) 茨城県小児科医会からの依頼について 協議内容を踏まえ鶴屋理事に一任

(8) 他団体からの学会開催に係る周知依頼への
取り扱いについて

茨歯報 I T 発信による周知とする

(9) 茨城県歯科医師会館の「脱タバコ」推進に
ついて
承認

(10) 本県選出の日本歯科医師会代議員・予備代
議員について

日歯とのWEB会議については、本日の理
事会方針に従い榊会長に一任

(11) WEB形式での研修会開催等に対応する環
境整備について

Zoomライセンス取得について渡辺専務に
一任

(12) 茨歯会忘年会・新年会について
中止とする

(13) その他

・令和4年度地域医療介護総合確保基金に
係る事業提案について

・新型コロナウイルス感染症拡大の状況下で開催す
る研修会等への参加要件について

ワクチン2回接種済の方の入場をお願い
したい

・令和3年度茨城県歯科医学会はWEB併
用で茨歯会館にて開催とする

【今後の行事予定について】

9月16日（木）

16時から 第7回理事会

10月14日（木）

15時から 第8回理事会

17時から 第1回地区会長協議会

10月21日（木） 関東地区歯科医師会役員
連絡協議会

（千葉県主催：開催方法未定）



株式会社 岩瀬歯科商会
iwase



株式会社 ウチャマ
ウチャマ



HENRY SCHEIN®



JoEast

ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社

株式会社岩瀬歯科商会と株式会社ウチャマはヘンリーシャインジャパンイースト株式会社に社名変更いたしました

改めまして、私たちはヘンリーシャインジャパンイーストです！

We try best! -for healthy and white teeth-

事業所案内

宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷1504-4	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11 1F	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市磯子区中原2-1-19 1F	TEL:045-770-4182
前橋支店	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡上堂支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
盛岡本宮支店	盛岡市本宮6-24-43 1F	TEL:019-635-7750
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770
つくば営業所	つくば市花室940-6	TEL:029-863-0720
仙台支店	仙台市若林区荒井5-7-6	TEL:022-794-7066

会務日誌

- 8月19日 第6回歯科助手講習会を開催。「共同動作」、「医療安全」について講義を行った。
受講者 49名
- 8月19日 第3回広報委員会を開催。会報8・9月合併号の日程確認、レディースコーナー依頼、Facebookについて協議を行った。
出席者 柴岡広報部長ほか5名
- 8月19日 第6回理事会を開催。入会申込みの受理、令和3年度第1回地区会長協議会提出議題（案）、防災危機管理運営小委員会委員の委嘱、介護保険講習会講師謝礼、事業補助金の申請について（茨城・県西歯科医師会）、令和3年度事業補助金の申請について（茨城県女性歯科医会）、茨城県小児科医会からの依頼、他団体からの学会開催に係る周知依頼への取り扱い、茨城県歯科医師会館の「脱タバコ」推進、常任委員会学術委員会委員の変更、本県選出の日本歯科医師会代議員・予備代議員、WEB形式での研修会開催等に対応する環境整備、茨歯会忘年会・新年会について協議を行った。
出席者 榊会長ほか16名
- 8月24日 地域ケア推進センター第1回運営協議会がWEB会議として開催され、地域ケア推進センターの事業及び取組状況ほかについて協議が行われた。
出席者 小野寺常務
- 8月24日 第5回学術委員会をWEB会議として開催し、学術シンポジウムの開催、次回シンポジウムの講師、歯科医学会誌、第30回歯科医学会について協議を行った。
出席者 鶴屋副会長ほか12名
- 8月26日 関東地区歯科医師会会長・専務・局長会議がWEB会議として開催され、令和3年度関東地区歯科医師会諸会議の開催計画ほかについて協議が行われた。
出席者 榊会長ほか2名
- 8月26日 第4回地域保健委員会を開催。親と子のよい歯のコンクール・高齢者よい歯のコンクール・歯科保健賞、フッ化物洗口説明動画撮影、第2回フッ化物洗口研修会について協議した。
出席者 北見地域保健部長ほか10名
- 8月26日 フッ化物洗口研修会（地域保健・学校歯科合同）をWEB研修会として開催。「今、なぜフッ化物洗口なのか～フッ化物洗口実施ワースト県を脱却するために～」について神奈川県歯科大学・同短期大学部特任教授の荒川浩久先生に遠地よりご講演いただいた。
受講者 187名（会場受講での受講12名）
- 8月30日 日本歯科医学会評議員会がWEB会議として開催され、学会会務運営について協議が行われた。

- 出席者 榊会長
- 8月31日 第1回医科歯科連携協議会が県立中央病院ほかにて開催され、病診連携の状況ほかについて協議が行われた。
- 出席者 榊会長ほか3名
- 9月2日 施設との連絡調整会議をWEB会議として開催し、入所・入院する者等の実態の把握、対象施設の選定、コロナ禍での口腔ケアについて協議を行った。
- 出席者 小野寺介護保険部長ほか1名 木村県老人福祉施設協議会会長ほか1名
- 9月2日 第5回地域保健委員会を開催。親と子のよい歯のコンクール・高齢者よい歯のコンクール・歯科保健賞について協議を行った。
- 出席者 北見地域保健部長ほか7名
- 9月2日 親と子のよい歯のコンクール審査会を開催。13組の応募があり、審査の結果、最優秀に平澤和泉・元章さん母子（日立市）を、優秀に小林綾子・愛和さん、関紗綾・恭助さん、丹治良太・基央さん、佐々木勇人・奏明さんが選ばれた。
- 出席者 堀内県健康・地域ケア推進課室長 北見地域保健部長ほか7名
- 9月2日 8020高齢者よい歯のコンクール審査会にて、応募のあった125名の高齢者について審査を実施。優秀賞に日立の安田富郎さんほか14名が選ばれた。
- 出席者 堀内県健康・地域ケア推進課室長 北見地域保健部長ほか7名
- 9月2日 茨城県歯科保健賞審査選考委員会を開催。候補として申請のあった個人1名、団体1件、に対し審査を行い、団体の部より社会福祉法人 博愛会 川妻認定こども園 おひさまを選出した。
- 出席者 堀内県健康・地域ケア推進課室長 北見地域保健部長ほか7名
- 9月7日 県糖尿病対策推進会議幹事会がWEB会議として開催された。
- 出席者 北見常務
- 9月8日 第3回学校歯科委員会を開催。令和4年度茨城県学校歯科保健研修会、歯・口の健康啓発標語コンクール応募作品、学校歯科基礎研修会について協議を行った。
- 出席者 鶴屋副会長ほか10名
- 9月8日 歯と口の健康に関するポスターコンクールの第1次審査を実施。県内の小・中学校より集まったポスター278点に対して審査を行った。
- なお、今回は新型コロナウイルスの影響により応募者数が減少したため、2次審査は行わず各賞を選考した。
- 9月8日 県在宅医療の連携体制構築に関する検討委員会がWEB会議として開催され、第7次茨城県保健医療計画（在宅医療）の中間見直し（素案）について協議が行われた。
- 出席者 小野寺常務
- 9月8日 第4回いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会運営委員会をWEB会議として開催し、11月28日の講演会について協議を行った。
- 出席者 荻野SHPいばらき運営委員長ほか9名
- 9月9日 茨城歯科専門学校戴帽式を挙行。歯科衛生士科2年生48名が大字校長から戴帽の儀を受け

た。なお、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として、式の模様をYouTubeライブで配信した。

出席者60名

9月 9日 臨地実習講師会をオンラインで開催し、分科会ごとのテーマを協議した。その後の全体会では臨地実習施設に対して学生指導の説明を行った。

出席者 大字校長ほか39名

9月10日 第24回日本歯科医学会学術大会参加登録に関する説明会がWEB会議として開催され、開会講演、公開講演、公開フォーラムおよび学術セッション等ほかについて協議が行われた。

出席者 今湊常務ほか1名

9月14日 第3回摂食嚥下研修会を開催し、「摂食嚥下機能訓練の実際①」について研修を行った。

受講者 63名

9月14日 日本補綴歯科学会東関東支部第1回理事会がWEB会議として開催され、東関東支部理事・副支部長の選任ほかについて協議が行われた。

出席者 今湊常務

9月15日 第4回社会保険正副委員長会議を開催。第5回委員会、指導、疑義、審査、理事会、社会保険指導者研修会、審査委員連絡協議会について協議を行った。

出席者 大野社会保険部長ほか2名

9月15日 第5回社会保険委員会を開催。疑義、社会保険指導者研修会、審査委員連絡協議会について協議を行った。

出席者 大野社会保険部長ほか21名

第2回フッ化物洗口研修会(WEB開催)

演題 「今、なぜフッ化物洗口なのか～
フッ化物洗口実施ワースト県を脱却するために」

地域保健委員会 鈴木 哲之

令和3年8月26日(木)、茨城県歯科医師会館にてWEBによる研修会が開催されました。

参加者は歯科医師、歯科衛生士、行政関係者等、187名でした。

1. 開 会

地域保健委員会 委員長 土屋雄一先生

2. 挨拶

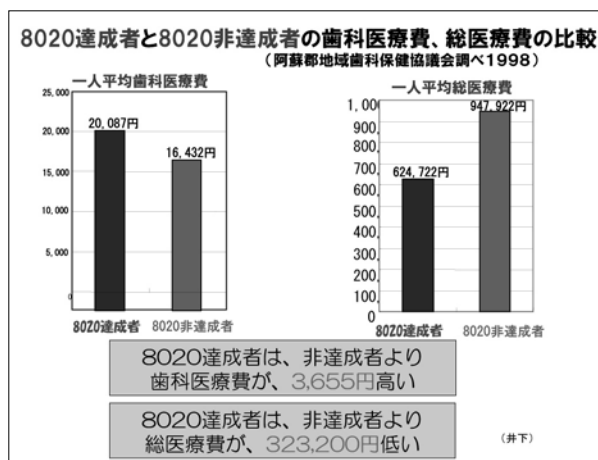
茨城県歯科医師会 副会長 鶴屋誠人先生

3. 講演

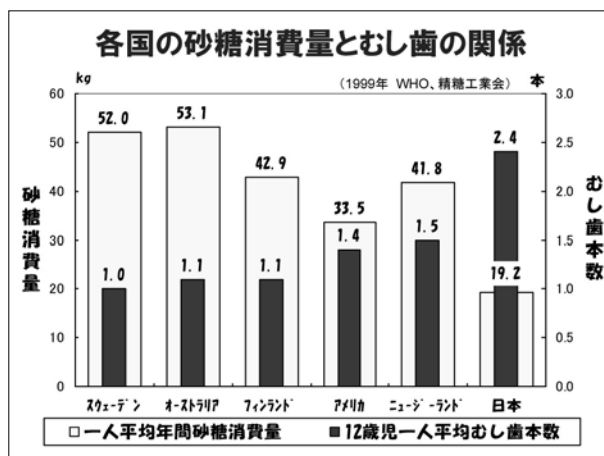
「今、なぜフッ化物洗口なのか～フッ化物洗口実施ワースト県を脱却するために」と題して、神奈川歯科大学教授 荒川浩久先生にご講演いただきました。



健康な歯を長く保つことは全身の健康保持に大きく影響し、健康寿命を延ばすことにつながります。8020達成者は達成できなかった者より年間歯科医療費は3,655円高いが、総医療費は323,200円も低いという統計が出ています。



日本は先進国の中でも砂糖の消費量が一番少ないにもかかわらず、むし歯の一人当たりの保有数が一番多いという事実があり、WHOはフッ化物の応用が遅れていることを指摘しています。



茨城県では12歳児一人当たりのむし歯数は全国平均より多く、フッ化物応用の実施状況はワースト9位です(平成30年度調べ)。

フッ化物はご存じのとおり、歯質強化、再石灰化を促す、抗菌作用（むし菌による酸産生を抑える）等の働きがあり、米国の実験では食事のコントロール（甘いものを控える等）や機械的清掃（ブラッシングやフロス）よりもフッ化物応用のほうが予防効果は高いことが証明されています。もちろん、フッ化物応用と食事のコントロール、ブラッシングを合わせて行うことが大切なのは言うまでもありません。厚生労働省も乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期すべてのステージにおいて、定期健診やブラッシングのほかにフッ化物応用が必要であるとしています。

歯科口腔保健の推進に関する法律(平成23年制定)における基本的事項:歯科疾患の予防における計画

乳幼児期	普及啓発 歯科保健指導の実施 う蝕予防方法の普及（フッ化物応用、シーラント、定期的な歯科検診）
学齢期	普及啓発 歯科保健指導の実施 う蝕予防方法の普及（フッ化物応用、シーラント、定期的な歯科検診） 歯周病予防方法の普及（歯口清掃、定期的な歯科検診）
成人期（妊産婦である期間を含む）	普及啓発 歯科保健指導の実施 う蝕予防方法の普及（フッ化物応用、定期的な歯科検診） 歯周病予防、重症化予防の方法の普及（歯口清掃、定期的な歯科検診）
高齢期	普及啓発 歯科保健指導の実施 う蝕予防方法の普及（フッ化物応用、定期的な歯科検診） 歯周病予防、重症化予防の方法の普及（歯口清掃、定期的な歯科検診）

わが国では水道水にフッ素を入れるなどの全身的フッ化物応用は実施できないので、家庭では1歳頃からフッ化物配合歯磨剤、専門家応用として1歳半からフッ化物塗布、公衆衛生施策として4歳からフッ化物洗口と、3つの局所応用をすべて利用することが必要です。

むし歯予防へのフッ化物の利用法

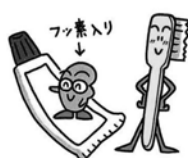
水道水フッリデーションなどの、地域対策としての全身的フッ化物応用が実施されていない日本では、3つのフッ化物局所応用をすべて利用する



専門家応用として、1歳半からフッ化物塗布



公衆衛生施策として、4歳からフッ化物洗口



家庭では、1歳頃からフッ化物配合歯磨剤

厚生労働省は平成15年にフッ化物洗口ガイドラインを示し、フッ化物応用によるむし歯予防の有効性と安全性は国内外の多くの研究により証明されており、口腔保健向上のためフッ化物の応用は重要であるとしています。

フッ化物洗口の対象年齢は、4歳（保育園、幼稚園児）から開始し、14歳（中学生）まで継続することが望ましいです。

フッ化物洗口ガイドラインの概略

平成15年1月14日に厚生労働省は都道府県知事に発信
文部科学省からも都道府県教育委員会に発信

- ・わが国ではWHOのフッ化物応用勧告にしたがってフッ化物歯面塗布や洗口が行われ成果を挙げてきた。健康日本21の目標達成のためにもフッ化物利用は欠かせない。
- ・フッ化物洗口は4歳から老人まで適用されるが、とくに4歳から14歳までの継続実施が望ましい。
- ・フッ化物洗口の高い効果と安全性から、地域単位で保育所・幼稚園、小・中学校で集団応用されれば公衆衛生上の利点がある。
- ・フッ化物洗口は他のフッ化物局所応用と併用実施しても安全上問題ないし、アレルギーや骨折、ガンなどとの関連もない。

理由は、萌出したばかりの歯牙はむし歯になりやすい、永久歯への生え変わりにあわせていく等が挙げられますが、ブクブクうがい上手に出来る頃に始めることも必要です。

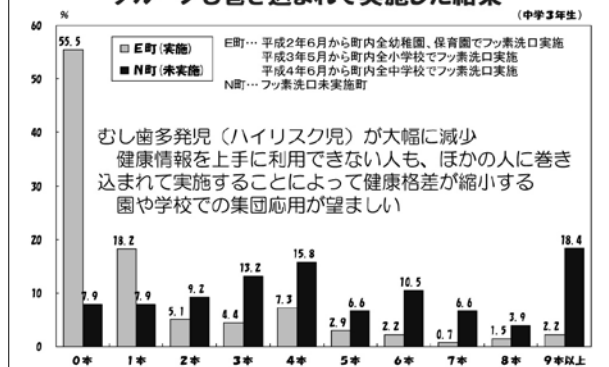
施設等での集団洗口は、集団に巻き込まれることにより、むし歯予防に関心のない人たちも参加し、むし歯多発児や重症児を防ぐ（健康格差の是正）ことにもつながります。

なぜ幼・保育園、小・中学校で集団応用なの？

- ・多くの子どもたちにむし歯予防は必要
- ・永久歯が次々と生えてくる最初の時期で、本格的な永久歯のむし歯予防開始に最適な時期
- ・集団に巻き込まれることで、健康リテラシーが高くない方も参加し、むし歯多発児や重症児を防げる。⇒健康格差の是正

健康リテラシー（health literacy）：健康面での適切な意思決定に必要な、基本的健康情報やサービスを調べ、理解し、効果的に利用する個人的能力の程度
⇒健康リテラシーが高くない方とは、健康情報を上手に利用する能力の低い方

集団フッ化物洗口実施で健康リテラシーの低いグループも巻き込まれて実施した結果



フッ化物洗口には、毎日法（週5回法）と、週1回法がありますが、幼稚園等では低濃度の洗口液で毎日行う方法が安全で、学校では濃度を上げた週1回法が行われています。

現在、新型コロナウイルスの状況により、フッ化物洗口による飛沫で感染リスクが高まるかもしれないとの危惧から、実施している施設でも一時的な中断は止むを得ない地域もあると思いますが、事態が収束したら早急に再開することを勧めます。日本口腔衛生学会の見解では、再開した場合、①集団で洗口場に行かない ②洗口場では間隔をおいて行う ③窓を開けて通気をよくする等に注意し、洗口を行うにあたり、ブクブクうがいでは口を閉じて行うため飛沫が飛び散ることは少ないと考えられるが、児童が口を閉じてうがいをしているかを確認する。また、吐き出す際のしぶきでエアロゾルが発生する可能性があるため、洗口液を吐き出すときはできるだけ低い位置からゆっくりと吐き出すように指導する。その際は口

元に近い位置で紙コップの中に吐き出すようにすれば飛沫の飛散の可能性がより少なくなると思っています。現時点ではフッ化物洗口によって感染が起こった報告はありません。

洗口に使うフッ化物は「ビーブランド」のミラノール、「昭和薬品」のオラブリスがあり、ともに顆粒で水道水にて希釈して使用します。これらには“歯科医師の指示書”が必要で県歯科医師会よりすでにサンプルが送付されております。

茨城県歯科医師会では、フッ化物洗口実施のための「フッ化物洗口マニュアル」やリーフレットを作成し、すでに配布しております。マニュアルには、フッ化物洗口の始め方や、実施方法と手順、参考資料として、園や学校側に必要な指示書、薬剤管理出納簿等の様式もサンプルとして含まれています。まだ在庫はありますので、必要な先生方は県歯科医師会にご連絡ください。



また、「ビーブランド」のホームページで、今回ご講演いただいた荒川先生の制作された「集団フッ化物洗口動画」がダウンロードできますのでご活用ください。

ホームページ bee.co.jp → 資料ダウンロード → 会員様限定便利ツールにあります。

今回の演題にもありますように、本県はフッ化物洗口実施ワースト県であり、子供のむし歯保有数も全国平均より多く、健康寿命を延ばすためにはむし歯予防はとても大切だと思います。会員の先生方におかれましては、囑託の園等がありましたらぜひ、本マニュアルをご活用いただき、フッ化物洗口事業の支援にご協力をお願いしたいと思います。

新型コロナウイルス緊急事態宣言下における集団フッ化物洗口の実施について

2020年4月20日一般社団法人日本口腔衛生学会

新型コロナウイルスの流行により、フッ化物洗口による飛沫で感染リスクが高まるかもしれないとの危惧から、地域によっては施設・学校においてフッ化物洗口の実施を止める方がよいのではないかという心配の声が聞かれます。

施設・学校等が休校となっている場合は、自宅等で生活している児童がストレスや生活の変化によってう蝕を含む歯科疾患に罹患しやすくなることが危惧されます。また、登校を継続している学校であっても、実施しているフッ化物洗口を中断した場合、う蝕罹患状況の悪化を招く可能性が高まります。

本学会としては、現在の状況を鑑みずと、一時的な中断はやむを得ない地域もあると思います。しかし、事態が収束したら、早急に再開することを強く勧めます。

専門学校

の だより



【戴帽式】

令和3年9月9日に茨城県歯科医師会館講堂に於いて歯科衛生士科第52期生47名の戴帽式が挙行されました。

緊急事態宣言中のため、来賓や保護者の方、在校生の出席を見合わせ規模を縮小しての開催となりました。保護者の皆様には、ぜひ学生の晴れ舞台を見ていただきたいという思いから、YouTubeによるライブ配信を行いました。

大字校長から一人一人にナースキャップをいただき、ろうそくの灯を採火しました。戴帽生代表の田中咲弥香さんが誓いの詞を唱え職業に対する意識を高めるとともにその責任の重さを自覚し、10月からの臨地実習に臨む決意を宣言しました。

大字校長から「本日の戴帽式の感動、感謝の決意を忘れずに前に進んで行ってください。その先には必ず明るい未来が開いているはずです。歯科

衛生士としての自覚と知識、技術を1日でも早く身に着け、全員が揃って国家試験に合格し歯科医療の世界で活躍することを祈念しています。」とごあいさつをいただきました。そして、榊名誉校長より「臨地実習では近未来の自分の姿を見据えて勉強していくことが大切となるでしょう。そして、若く柔軟な思考力を存分に発揮してください。茨城県民から頼りにされ慕われる歯科衛生士になることを祈念しています。」とのお言葉をいただきました。

本日の誓いを心にしっかりとどめて歯科衛生士を目指す者として気を引き締め、現場の状況を肌で感じてきて欲しいと思います。これまで学んだことを最大限に活かし、新しい知識、技術を吸収し人間的にも成長してくれることを期待しています。

(文責 菊池)





〒310-0911 茨城県水戸市見和2-292
 公益社団法人
茨城県歯科衛生士会
 TEL・FAX 029-253-5807
<https://ibaraki.jdha.or.jp>
 E-mail jimu@ibaraki-dh.net

(公社)茨城県歯科衛生士会 水戸支部 川又 典子

私が歯科衛生士になって気が付けば既に数十年たっていました。歯科医院に勤務し、寿退職。子育てを満喫していましたが、同居をきっかけに病院勤務を開始し、順調に仕事をしていました。しかし3年前に義理両親の介護のため退職することになり、現在は市町村の母子歯科保健指導に関わらせて頂いています。在宅でも歯科に関われる場所があることはとても幸せなことです。今は時間ができたので衛生士業務とは別に地元でも保育サポートボランティア活動にも参加しています。日ごろ、母子歯科保健指導に関わっているのでとても参考になることが多いです。

歯科衛生士会も卒業と同時に入会しているので、こちらも同じ年月が経っています。子育て中やフルタイムで仕事をしていると、衛生士会の活動に参加しようという気持ちの余裕が持てず名前だけ

の会員でした。しかし、現在少し時間にゆとりが持てるようになったので研修会等に参加するようになりました。参加するようになると縦横のつながりができ、それがきっかけになって今の市町村事業に参加することができました。活動をする中で悩みをはじめ、さまざまな相談ができる仲間ができ、助けてもらっています。本当にありがたい事です。

私には二人娘がいます。『歯科衛生士はお母さんみたいに一度結婚で退職しても復帰して仕事ができるよ。何より楽しいしやりがいがある仕事だよ。』と言い続けたせいかわかりませんが、二人とも歯科衛生士の道を歩み始めています。まだ歯科衛生士業務の楽しさよりも大変さを感じるほうが多いとは思いますが、これから親子で歯科衛生士業務について沢山話ができると思うと今から楽しみです。

有限会社 アイ・デー・エス は、
各種保険の代理店・集金業務
を行っております。

〈損害保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

〈生命保険会社〉

SOMPOひまわり生命保険株式会社

朝日生命保険相互会社

日本生命保険相互会社

大樹生命保険株式会社

明治安田生命保険相互会社

住友生命保険相互会社

第一生命保険株式会社

アフラック生命保険株式会社

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

三井住友海上あいおい生命保険株式会社

〈取扱保険商品〉

医師賠償責任保険

個人情報漏えい保険

クレーム対応費用保険

所得補償保険

長期傷害所得補償保険

家族傷害保険

デンタルファミリー傷害保険

ゴルファー保険

自動車保険

火災保険

グループ保険（団体定期保険）

小規模企業共済

新規加入、増額変更、何なりとご用命ください。

有限会社 アイ・デー・エス

代表取締役 森永 和男

水戸市見和 2 丁目 292 番地の 1 茨城県歯科医師会館内 Tel:029-254-2826

みんなの写真館

Photo
Gallery



(社) 水戸市歯科医師会 加藤 毅

会 員 数

令和3年8月31日現在

地 区	会員数(前月比)
日 立	115
珂 北	143 -1
水 戸	155
東西茨城	72
鹿 行	101
土浦石岡	179
つ く ば	138 +1
県 南	176
県 西	153 -1
西 南	104
準 会 員	6
計	1,342 -1

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員 1,137名
2種会員 75名
終身会員 124名
準 会 員 6名
合 計 1,342名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和3年10月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地の1

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進

編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。